

日本オリエント学会第57回大会プログラム

2015年10月17日(土)・18日(日)

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)

第1日 10月17日(土) 14:00~20:00

公開講演会・学会奨励賞授与式

会場：W203 教室

13:30 開場

14:00~14:10 開会挨拶

14:10~17:00 第312回公開講演会「オリエント世界と一神教」

第1講演：山我哲雄（北星学園大学）「古代イスラエルにおける一神教と多神教」

第2講演：鎌田繁（東京大学）「「一神教」としてのイスラーム」

コメント：宇都宮輝夫（北海道大学名誉教授）

17:10~17:40 第37回日本オリエント学会奨励賞授与式

18:00~20:00 懇親会（会場：ファカルティハウス「エンレイソウ」）

第2日 10月18日(日) 9:30~16:00

研究発表会

会場：W101, W102, W201, W202, W308, W309 教室（口頭発表）

W105 教室（ポスター発表：コアタイム [12:30~13:00]）

主催 日本オリエント学会

後援 北海道大学大学院文学研究科

10月18日(日) 研究発表

第1部会 W101 教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	Begmatov Alisher	カフイルカラ出土貨幣について
2	10:00-10:25	吉田 豊	ソグド語の金石文について
3	10:30-10:55	影山 悦子	法隆寺・東大寺宝物に見られる「イラン文化」—エフタルとソグドの影響について
4	11:05-11:30	津村眞輝子	サーサーン式銀貨の後刻印にみられるシンボル
5	11:35-12:00	齋藤 正憲	ネパール、カトマンズ近郊の土器づくり
12:00-13:30			[昼休み]
6	13:30-13:55	法貴 遊	アブラハム・マイモニデスの預言者像とスーフイズム
7	14:00-14:25	井上 貴恵	ルーズビハーン・バクリー・シーラーズィーによるクルアーン解釈
8	14:35-15:00	澤井 真	存在一性論における神名—イブン・アラビーとカーシャニーの議論を中心に
9	15:05-15:30	山本 直輝	オスマン朝アラブの存在一性論学派による神学理解—ナーブルスィーのクーラーニー批判を中心に

第2部会 W102 教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	後藤 健・ 西藤 清秀・ 安倍 雅史・ 原田 怜・ 上杉 彰紀・ 堀岡 晴美	バハレーン・ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト第1次調査の報告
2	10:00-10:25	藤井 純夫	アラビア半島の円塔墓文化—トール・グウィール、ワディ・グバイ遺跡群の調査から
3	10:30-10:55	足立 拓朗	サウジアラビア、タブーク州における初期遊牧民遺跡出土の貝製品について
4	11:05-11:30	堀岡 晴美	バハレーン出土カッシート期楔形文字粘土板
5	11:35-12:00	西藤 清秀	シリア・パルミラの葬送用胸像の製作—特に顔面部位の位置について
12:00-13:30			[昼休み]
6	13:30-13:55	四角 隆二	イラン北部、鉄器時代移行期の冶金技術について—バイメタル剣の製作技法の検討
7	14:00-14:25	関広 尚世	古代スーダンにおける鉄使用の始まりについて
8	14:35-15:00	上杉 彰紀	考古学からみた前2千年紀の南アジア—インダス文明の衰退に伴う社会変化の諸相
9	15:05-15:30	内記 理	チャナカ・デリー遺跡の概要
10	15:35-16:00	土谷 遥子	ダレル溪谷の本城、Raji-kot の伝承を基にして実施された Giyal 溪谷に通ずる Shego-gah/Baro-gah 溪谷の隠れ路の現地調査—パキスタン北部地方『法顕の道』現地調査(2013:II)

第3部会 W201 教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	安藤 五月	シュメール語王讃歌における王と神々の関係—ウルナンム、シュルギ、イシュメダガン
2	10:00-10:25	山田 重郎	古バビロニア時代タバトゥム(テル・タバンの)書記教育
3	10:30-10:55	渡辺 和子	「エサルハドン王位継承誓約文書」にみる編集作業とその意図
4	11:05-11:30	山本 孟	ヒッタイト王女と諸外国の王との結婚について—結婚に関する表現の分析
5	11:35-12:00	土居 通正	キプロス島とクレタ島から亜ミケーネ期の年代を考える
12:00-13:30			[昼休み]

6	13:30-13:55	和田浩一郎	古代エジプトの幼児・小児埋葬について
7	14:00-14:25	安岡 義文	古代エジプトの祠堂および祠堂型家具におけるモジュールの使用について
8	14:35-15:00	佐藤 育子	地中海におけるフェニキア人の活動—アシュタルテ崇拝をめぐる一考察
9	15:05-15:30	波部雄一郎	後期プトレマイオス朝下の南部エジプトにおける軍隊と宗教
10	15:35-16:00	江添 誠	地中海東岸のローマ属州におけるテュケー信仰

第4部会 W202 教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	馬場 匡浩	古代エジプト国家形成期における食糧生産の専門化
2	10:00-10:25	高宮いづみ	エジプト・アラブ共和国ヒエラコンポリス遺跡の集落における穀物加熱調理施設
3	10:30-10:55	竹野内恵太	エジプト原・初期王朝時代における石製容器副葬の階層規範
4	11:05-11:30	西本 直子・ 西本 真一	ペリパウトの2つの家形の箱
5	11:35-12:00	肥後 時尚	古代エジプトの「コフィン・テキスト」におけるマアトの一側面
12:00-13:30 [昼休み]			
6	13:30-13:55	吉村 作治・ 矢澤 健	エジプト・ダハシュール北遺跡第22次調査報告
7	14:00-14:25	河合 望	ネフェルネフェルウアテン王に関する再検討
8	14:35-15:00	菊地 敬夫	「太陽神への連禱」—王墓のテキストと神殿のテキスト
9	15:05-15:30	南澤 武蔵	エジプト、新王国時代のファイアンス製シャブティの製作について
10	15:35-16:00	平山 洋	オシリス神の図像学—ジャッカ神との関連性から

第5部会 W308 教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	尾崎貴久子	10世紀のアッバース朝宮廷料理書の一写本であるトプカプ宮殿所蔵13世紀写本『友人の絆』について—調理技術と料理人の記述を中心に
2	10:00-10:25	深見奈緒子	ミフラーブにおけるランプ文様の変遷—西アジアからモルディブへ
3	10:30-10:55	神田 惟	サファヴィー朝期ラスター彩陶再考—ハンブルグ美術工芸博物館所蔵ラスター彩陶製墓(Acc. no. 1960.64)碑文の検討
4	11:05-11:30	手島 秀典	マムルーク朝末期の政権運営—スルターン・カーイトバーイ治世期の政府要職に関する考察
5	11:35-12:00	吉村 武典	14世紀後半のマムルーク朝同時代史料—イブン・ハビーブ著『トルコ人の王朝における連なる真珠』写本をめぐって
12:00-13:30 [昼休み]			
6	13:30-13:55	榮谷 温子	アラビア語古典文法における「警告 tahdhīr」の記述の変化
7	14:00-14:25	立町 健悟	初期近世ペルシア語における過去分詞の変遷
8	14:35-15:00	三代川寛子	20世紀初頭におけるコプトと人種主義
9	15:05-15:30	福永 浩一	王政期エジプトにおけるイスラーム復興運動の組織化の考察

第6部会 W309 教室

	時間	発表者	発表題目
1	---	---	---
2	10:00-10:25	岩本 佳子	オスマン帝国における奉公集団研究序説—バルカン半島のミュセツレムを中心に
3	10:30-10:55	今野 毅	17世紀末におけるオスマン軍の損耗率—給養台帳におけるアルバニア系軍事集団の記録から
4	11:05-11:30	松本奈穂子	オスマン朝末期からトルコ共和国初期における旋律学校の機能と意義
5	11:35-12:00	小野 亮介	「人種主義・トゥラン主義裁判事件」半年前のゼキ・ヴェリディ・トガン—未刊行論文「第二次世界大戦とトルコ性」(1943年)の検討
12:00-13:30 [昼休み]			

企画セッション W309 教室

テーマ:「18 世紀中葉のオスマン帝国—首都イスタンブルからの展望」(企画代表:秋葉 淳)

	時間	発表者	発表題目
6	13:30-13:55	高松 洋一	マフムト1 世による Ayasofya 図書館の蔵書形成—歴史書を中心として
7	14:00-14:25	守田まどか	マフムト1 世時代イスタンブルの「公共空間」と女性
8	14:35-15:00	秋葉 淳	18 世紀オスマン帝国の裁判官のプロフィール—遺産目録を史料として
9	15:05-15:30		コメント・討論 (司会:小笠原弘幸)

ポスター発表 W105 教室 コアタイム 12:30~13:00

発表者	発表題目
牧野 久実	ミシュナに見られる手水器についての考古学的考察
吹田 浩	関西大学国際文化財・文化研究センターの活動
赤司 千恵・山内 和也	アク・ベシム遺跡(キルギス共和国)の出土植物遺存体

◎北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W 棟)へのアクセス

所在地:北海道札幌市北区北 10 条西 7 丁目

- ・JR 線札幌駅から徒歩 10 分、地下鉄南北線北 12 条駅から徒歩 10 分程度かかります。
- ・構内に駐車スペースはございませんので、公共交通機関でお越し下さい。

